

おお おお くわ

大

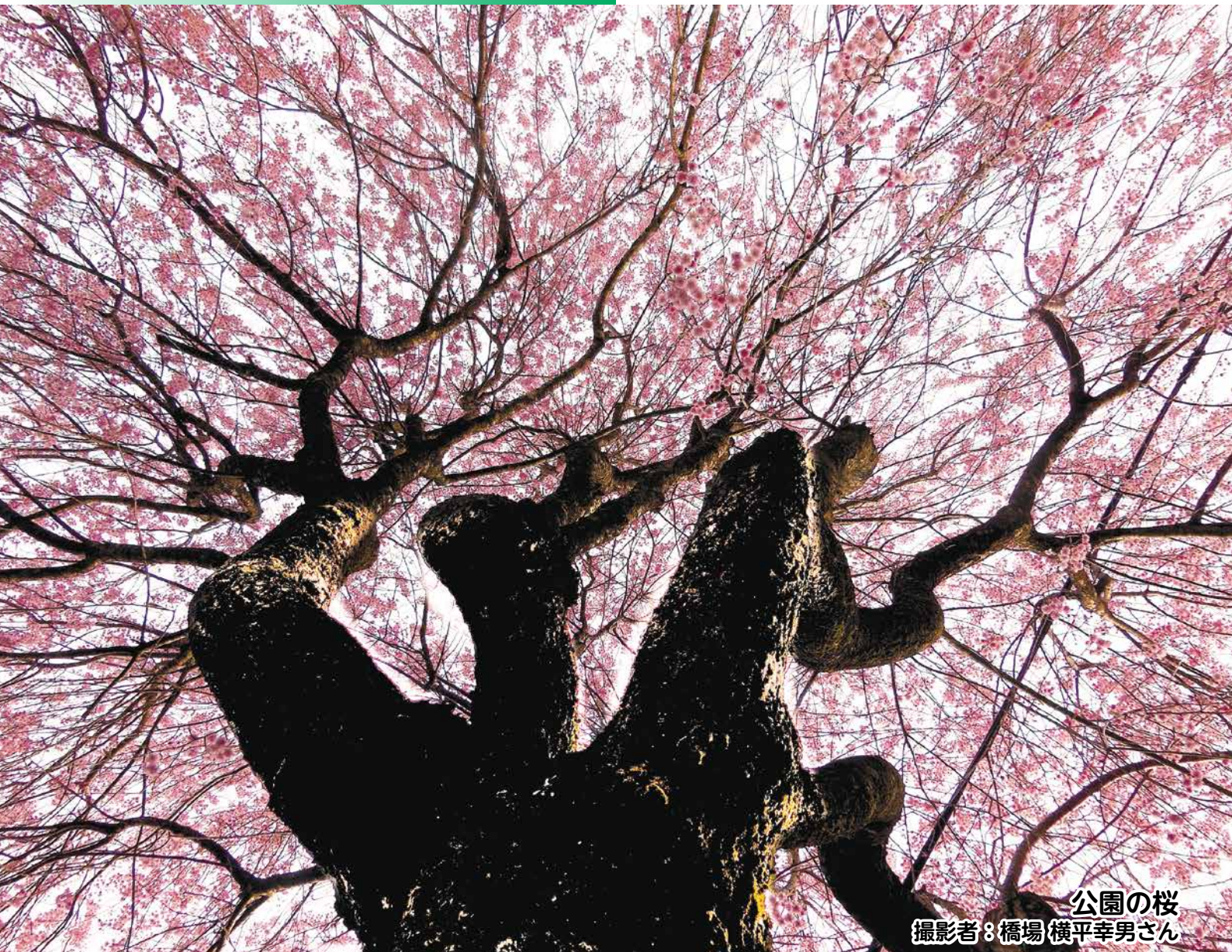
議会だより

第148号
平成29年
4月27日発行

3月定例会

平成29年度予算可決

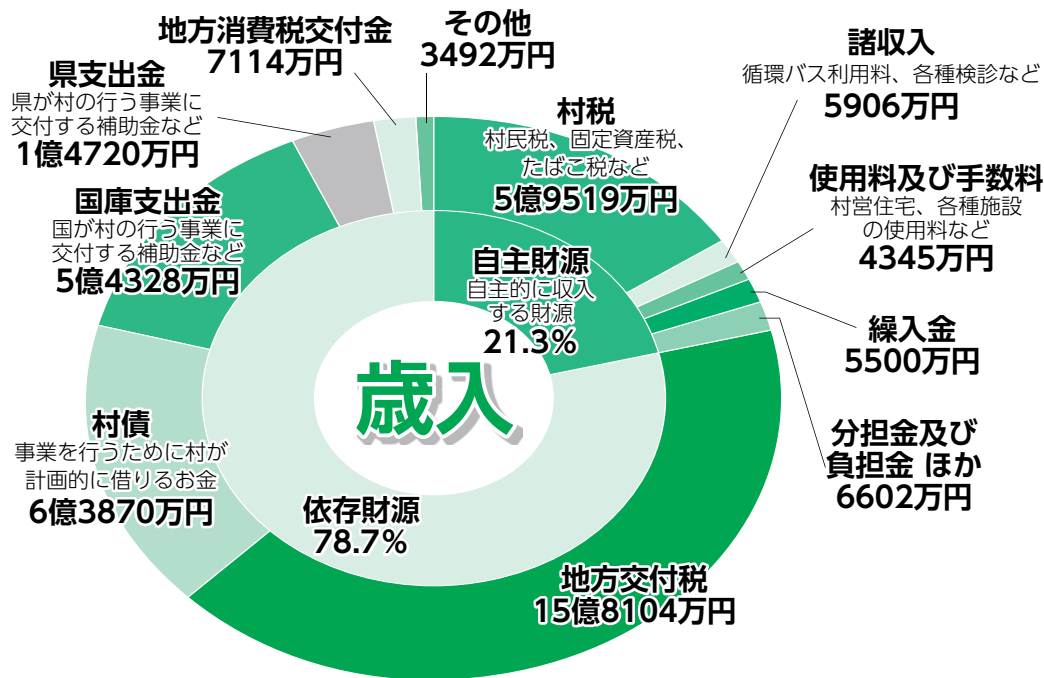
- 空き家改修に補助制度…… 3
- 国保の税率改正…………… 5
- 村政を問う 8人が一般質問 … 10
- 議員研修
- 一南知多町空き家対策…… 18
- 新シリーズ「村への思い」… 20



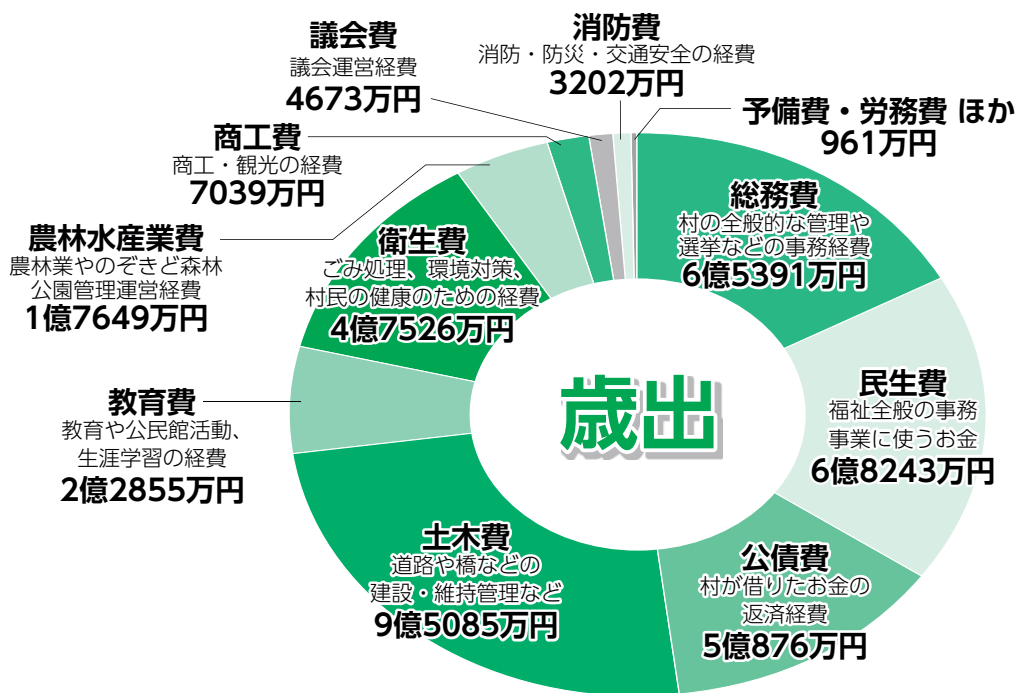
公園の桜
撮影者：橋場 横平幸男さん

3月定例会

3月定例会は、3月3日から31日までの29日間の会期で開かれ、諸報告、陳情2件を委員会に付託。一般質問（8名16項目）が行われた。
村長提出議案は、条例改正等18件、補正予算7件、工事請負変更契約1件、指定管理者の指定1件、新年度予算6件などが上程され、慎重審議し可決した。又、教育長の任命について原案に同意した。



平成29年度一般会計予算 38億3500万円 前年度対比4.8%増
大型事業 大桑橋建設工事2年目・新ごみ処理施設30年度稼働へ



平成29年度 会計別当初予算集計表

(単位：万円)

合 計	当 初 予 算 額			
	本年度予算額 平成29年度	前年度予算額 平成28年度	前年度比	
			増減額	増減率%
一般会計	383,500	365,800	17,700	4.8
村営水道事業特別会計	23,170	25,826	△ 2,656	△ 10.3
国民健康保険事業特別会計	42,397	41,449	948	2.3
農業集落排水事業特別会計	9,644	9,990	△ 346	△ 3.5
公共下水道事業特別会計	7,938	9,102	△ 1,164	△ 12.8
後期高齢者医療事業特別会計	6,473	6,599	△ 126	△ 1.9
合 計	473,122	458,766		

若者の移住・定住を促進

空き家改修に補助制度

家財処分にも対応

活 力

- 庁舎建設基金積立（1億円）
- 新庁舎アクセス道路整備 村道大島線改良、大島中央線改良に伴う用地購入
- 老朽施設解体（須原親睦会館）
- 海ひこ山ひこ事業 海の家利用補助（大人3千円・子人2千円）
- 里山整備事業交付金（3箇所）
- 商工会プレミアム商品券助成
- 阿寺溪谷最盛期駐車場警備員配置・仮設トイレ設置
- フォレスパ木曾委託料 2,000万円

若 者

- 空き家対策事業補助金（限度額50万円）
- 宅地造成可能土地基本調査（6箇所）
- 住宅新築・増改築補助継続

子育て

すこやか子育て応援事業始まる
出産・小中学校入学時に5万円の祝金

- 子育て支援ショートステイ事業（新規）
- 子育て支援センター利用料村内者無料
- 子育て相談窓口常設
- 小学校多目的室・子育て支援センターエアコン設置

生 活

- 新ごみ処理施設建設分担金（2億円）
- 古着収集の実施（新規）
- 大桑駅前公衆トイレ建設（震源立地地域対策交付金事業）
- 大桑橋架け替え工事
- 村道橋場下条線ガードレール設置
- 村道弓矢上線・下在旧道線改良工事
- 有害鳥獣被害防止対策 下在地区緩衝帯整備、有害鳥獣パトロール
- 国土調査事業（^{トフサ}殿木賊地区）

安 心

- デイサービスセンター・あがらんしょ施設改修
- 新田4地区防火水槽設置（電源立地地域対策交付金事業）
- 直轄砂防事業 越百第三砂防堰堤・下洞沢砂防堰堤・下在砂防堰堤工群細久保沢砂防堰堤の継続、猿沢・伊奈川第1・太田第1砂防調査
- 県事業 大沢砂防堰堤、門前急傾斜地崩壊対策（門前）

予算・ピックアップ

わたしたちもぼくたちも大桑小の子どもです



当初予算審議

歳入

固定資産税

Q 固定資産税の税収が伸びている。増改築の把握方法と評価は。

A 平成27年度に実施した全棟調査も踏まえ、関係部署との連携や職員の巡回で確認、評価している。

電源立地交付金

Q 算入根拠と使途は。

A 過去10年間の発電量で国が算出。使途は、保育士・保健士・栄養士の人件費、防火水槽の設置、大桑駅のトイレ改修工事である。

Q これからの発電事業として水力発電は大事な要素をもつ。交付額が減らされているが、ふさわしい交付金を要望するべきだ。

A ダム発電協で毎年、単価の見直しや発電機の更新等を要望している。

歳出

旧須原親睦会館解体

Q 隣接する仮宮の崩落止めは。

A 仮宮はお宮の管理である。親睦会館解体時に支障があれば検討する。

Q 解体後の跡地利用は。

A 決まっていない。地域でも有効な活用方法を検討してほしい。

くわちゃんバス



Q 高齢化に対応するため、小型バス運行の検討は。

A 現在はスクールバスの空き時間に運行している。多方面から要

望があり、他町村を参考により良い運行を検討している。

Q 坂下病院の経過を踏まえ、中津川市民病院への通院手段の確保は。

A 坂下病院は3年後までは存続されるので、現在は考えていないが、中津川市民病院への引継ぎが多くなれば検討する。

子育て支援ショー

トステイ事業

Q 塩尻市と連携してねざめ学園で行う事業という事だが、対象年齢は。

A 18歳未満である。

グループホーム

Q 建設場所として検討しているのは公有地か、民有地か。

A 民有地も含めて検討している。

庁舎建設―耐震化

に交付税措置

Q 1億円の基金積み増しをするが、耐震化

の交付税措置も併せて前倒しを検討するのか。

A 国の補助制度は平成32年までの期限付きである。村に有利であるかどうか慎重に検討する。

大桑橋工事仮栈橋

Q 仮栈橋が建設される経緯は。

A 平成27年度の詳細設計で、工事方法に関し右岸側から入った方がいいという検討結果になり、29年度に仮栈橋を建設し平成30年度から橋脚を建設していくことになった。そのため、仮栈橋建設費3億円が増額となった。

フォレスパ木曾管理委託料

Q 本年度委託料2000万となった理由は。

A 5年間で9800万という協定を結んでいる。委託先と協議し金額を決定した。

森林整備

Q 小規模の森林整備

に対する村の交付金事業は好評だと聞いている。増額をしてはどうか。又、森林づくり県民税の、新年度の見込みと実績の把握は。

A 郡全体では7～8千万で使われている。

Q 森づくり県民税はいい制度であるが使い勝手が悪い。村の考えは。

A 基金も2億程度残っている。森林整備のために全額使えるように求めている。

下在の直轄砂防事業

Q 中河原沢、蛇抜沢直轄事業工事の工程は。

A 蛇抜沢は今年度工事発注予定。測量設計が終了し次第、年度ごと分けて工事を進める。中河原沢は平成29年度、JRから県道。次年度は県道から国道までの護岸工事を予定。

奨学金返済免除の効果

Q 村の奨学金運用状況と返済免除の効果は。

A 28年度末の見込みで一部免除対象者が10人であり効果があると考えている。

子育て支援センター利用料村内者無料に



Q 一時保育や支援センター利用料の見直し理由は。

A 村内居住児童については無料とし、子育て支援センターのサービスを受けやすとした。一時預かりは、30分単位(200円)に見直し、月額上限を3万4000円とした。



村内企業 大事な雇用の場として協力を

Q 村内企業の実態を可能な限り把握し、大事な雇用の場として協力していくべきと考えるが。

A 村と企業との意見交換の場があるので、今後も協力していく。

ふるさと納税

Q 返礼品の内容は。

A 商品券や木工品。他の自治体の例のような多額の返礼は考えていない。

Q ピーアル方法は。

A 村のホームページを活用している。

補正予算審議

特別交付税

Q 特別交付税の増額理由は。

A 老人ホームの入居者増で、措置費用が930万円増額となったことによる。

大桑橋架け替え工事

Q 大桑橋工事2300万円追加の内容は。

A 岩盤の影響で発破による除去費用と大雨による排水及び地下水の排水のため大型ポンプを使用したことによる増工である。

Q 当初の設計から変更する場合の基準は。

A 基準はない。今回の変更増額は、予想以上の岩盤の状態と水量であったことによるものである。

意見

自然条件等もあるが、事前に最大限情報をつかんだうえで設計し、変更が無いようにすべきである。

Q 全体工事は計画通り完了するか。

A 当初、平成32年度完成で進めていたが、撤去を含め平成33年度となる見込み。

国土調査

Q 国土調査費の減額理由は。

A 区切りの良いところで次年度事業とした。
意見 自分の山も知らない人が多くなってきた。少しでも早く調査を進めてほしい。

会計別補正予算額

会 計 名	補 正 額	補正後の総額
一般会計	3140万円	39億 922万円
村営水道事業特別会計	△ 190万円	2億4789万円
国民健康保険事業特別会計	345万円	4億6585万円
農業集落排水事業特別会計	△ 988万円	1億1537万円
公共下水道事業特別会計	△ 106万円	9117万円
後期高齢者医療事業特別会計	△ 98万円	6501万円

※一般会計の補正額は、第5号補正と第6号補正の合計額

国民健康保険制度改革 平成30年度から都道府県に広域化

国保税平成29年度から段階的に値上げ 激変を回避する対策を

高齢化による医療費の増大、低所得者の保険料負担増や市町村格差を背景に、国保制度の安定的な財政運営や効率的な事業の確保を目的として平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体（広域化）となります。このため、国保税は県が示す「標準保険税率」を参考に市町村の税率を算定することになります。大桑村は、平成22年度以降保険税を低く抑えて運営してきましたが、この率で算定すると現在の保険税より高くなります。

今回、被保険者の急激な負担を軽減するため、段階的に標準税率に近づける国保税率の改正案が2月22日の総務社会委員会で示されましたが、十分な調査が必要とし、3月14日に委員会、28日には全員協議会で再度協議しました。

村国保会計は、医療費が増加する反面、加入者の減少などで国保税収入は減少し、基金を取り崩して運営をしている状況にあります。国保財政の健全化のために値上げは必要とする一方、社会保障制度として、低所得者への対応など広域化に伴う激変を回避する対策を求めたのに対し、検討するとしたため、28日の本会議において国保税条例の一部改正案を原案どおり可決しました。

現行税率と平成29年度税率の比較

	区 分	税 率			
		所得割 %	資産割 %	均等割 円	平等割 円
現行税率	医療給付分	6.00	35.00	15,700	16,000
	後期高齢者支援金	1.90	9.00	4,500	5,000
	介護納付金等分	1.45	10.80	4,800	4,100
29年度税率	医療給付分	6.20	35.00	16,500	17,000
	後期高齢者支援金	2.00	9.00	5,500	5,000
	介護納付金等分	1.80	10.80	5,000	4,500

こんなことが決まりました

陳 情

「共謀罪(テロ等準備罪)」法案の国会提出に反対する意見書提出を求める陳情書	(提出者) 戦争をさせない1000人委員会きそ 代表 澤木 政良ほか	採択
木曽地域の活性化を図るため、木曽青峰高等学校の専門科(森林環境課・インテリア科)の充実発展と木曽地域の高等学校の30人学級をもとめる陳情書	(提出者) 長野県産業教育振興会第4支部 木曽支部支部長 森本 剛士	趣旨採択

条例改正等

農業委員の選任

選挙から村長の任命に

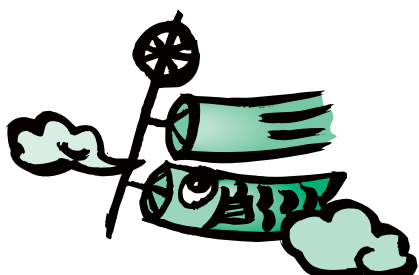
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の改正	番号制度による地方公共団体内の情報提供について必要な事項を定める
職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の改正	地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う関係条文の改正
職員の育児休業に関する条例の改正	
一般職の職員の給与に関する条例の改正	
資金積立基金条例の改正	果実運用型基金の見直し及び、既に廃止となっている基金の除外
税条例の改正	地方税法等改正に伴う関係条文の改正
大桑村公民館条例の改正	教育委員会関係施設の使用料の見直しに伴う関係条文の改正
村歴史民俗資料館設置条例の改正	
体育施設の設置及び管理に関する条例の改正	
出産祝金支給条例の廃止	「大桑村すこやか子育て応援事業実施要綱」制定に伴う廃止
福祉医療費給付金条例の改正	児童扶養手当法施行令の改正に伴う関係条文の改正
長寿祝金条例の改正	長寿祝金の支給対象となる基準日を4月1日に改める
農業委員会の選挙による委員の定数条例の廃止	国の法律改正により農業委員会の制度が変更。関係条例等の廃止・制定・一部改正
農業委員会の委員の定数を定める条例の制定	
特別職の職員で非常勤の者の報酬に関する条例の改正	
防災行政無線通信施設の設置及び管理に関する条例の改正	防災行政無線デジタル化整備工事に伴い、施設の設置場所等の変更に伴う改正
国民健康保険税条例の改正	国保税率改正と、国民健康保険法施行令の一部改正に伴う条文改正
村道路線の廃止	須原下条二号線の一部
木曽広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄	市町村圏計画に基づく各種事業の財源に充てるため基金の一部取り崩しにつき構成町村として出資金の権利一部放棄

契約変更

防災行政無線デジタル化整備工事変更請負契約	(変更金額) 3,255万円 (変更後の金額) 3億6,325万円 (契約の相手方) 株式会社日立国際電気長野営業所
大桑橋整備工事変更請負契約	(変更金額) 5,300万円 (変更後の金額) 2億6,514万円 (工 期) 平成28年9月15日から平成29年7月20日 (契約の相手方) 吉川・奥田建設共同企業体

指定管理者の指定

農林水産物処理加工販売施設 指定管理者の指定	指定管理者の氏名 有限責任事業組合 米っこ大桑 下起亨子 期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日
---------------------------	---



人事

教育長に

須賀 幸弘氏

坂家重吉氏の退任に伴う教育長の選任について、左記の者を選任することに全会一致で同意した。
大桑村長野
須賀 幸弘氏

総務社会 常任委員会報告

福祉医療費の窓口 無料化を早期に

◎2月22日開催

▼平成29年度各会計予算案の重点項目、条例改正等について説明を受け審議した。

▼国民健康保険制度改正に伴う標準税率導入で、平成29年度から段階的に保険料率を上げる改正案を国民健康保険運営協議会に諮問し、既に答申があったとの説明を受けた。

▼福祉医療費の窓口無料化実施に向け県で検討が進められている。村としては、レセプト代を含め窓口負担が無いことが望ましいと考えており、今後の検討経過を注視したい。

▼新庁舎建設について、耐震基準を満たしていない庁舎の建て替えに對して、平成29年度か

ら4年間の期限で支援制度が創設される。事業費の2割程度が見込めるため、建設計画の前倒しを検討中とのことである。

付託事件の審査

◎3月14日開催

付託された陳情2件、及び国民健康保険制度改正等の説明を村担当者より受け、審議した。

■共謀罪（テロ等準備罪）法案の国会提出に反対する意見書提出を求める陳情書について

主な意見

▼陳情は特定の方角に偏り過ぎている。犯罪を未然に防止して、国民の生命財産を守る法案である。テロを防止するためには、必要。

▼法解釈の幅が広く、冤罪を生む恐れや監視社会を招く恐れがある。既に防止する法律もあり、与野党内でも疑問の声もある。

▼議論の余地が多くあり、国民の理解が得られていない。共謀罪を成立させても、格差社会を是正しなければ防げない。

審査の結果

賛成多数 採択

■木曽地域の活性化を図るため、木曽青峰高等学校の専門科の充実と木曽地域の高等学校の30人学級を求める陳情書について

主な意見

森林県として、特色ある専門科を存続し人材育成をすることは大事である。子どもたちの希望を大切にしつつ、普通科を含めた議論が必要である。多くの意見があり、県の検討結果を踏まえて調査を継続すべきである。陳情の趣旨は尊重し、今後

も勉強することが必要。

審査の結果
賛成多数 趣旨採択

国民健康保険制度改正等について

当村の国民健康保険制度改正及び介護保険制度改正について、担当者から説明を受け、審議した。

※保険税率改正については、5ページに詳細を掲載。

（報告者 鈴木 武）



木曽青峰高校入学式で

経済建設

常任委員会報告

◎2月22日開催

大桑橋工期延長

大桑橋工事視察

大桑橋工事は本年度、

右岸側橋脚と橋台設置工事を実施。大雨や関西電力の放流等により木曽川の水位が上昇したことから、岩盤の状況による掘削工事の変更で、工期の延長が必要となり繰越事業となる。

生活基盤整備進む

▼平成29年度主要事業（建設水道課）

浦川2号橋等3橋の修繕、橋場隧道修繕、村道弓矢上線等3箇所の道路維持、村道長野殿線改良事業（新庁舎アクセス道路）村道大島線改良事業、中河原沢護岸工事、蛇抜沢詳細設計、橋梁定期点検44橋、大曲等住宅地調査、野尻地区水道配水管敷設替工事等

（産業振興課）

景観整備伐採2か所、村有林植栽事業、殿22区国土調査事業、和村農業用水路修繕等

▼上下水道事業経営戦略策定

公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続するための中長期的な基本計画。平成26年8月に総務省から要請があり平成29年度から平成38年度までの10年間の計画を本年度策定したものである。経営改善を図り、計画的な事業運営が求められる。

（報告者 沼 友行）



大桑橋工事視察

木曽広域連合 議会報告

◎2月28日開催

第1回定例会は、条例改正3件、指定管理者の指定1件、平成28年度補正予算2件、平成29年度一般会計及び介護保険特別会計等が上程され、審議の結果、

全て原案通り可決した。

▼平成28年度一般会計補正予算は3877万9千円を減額し、40億965万1千円に、主な減額は人件費、電気料金値下げ、新炉建設の処理経費節減である。
木曽寮・文化公園建物劣化診断を実施
▼平成29年度一般会計

当初予算は、第5次広域計画の策定、情報センター使用料支払いの利便性向上のためコンビニ収納の開始、木曽寮施設老朽化に対応する木曽寮の在り方の方向性を出すための建物劣化診断を実施、緑聖苑は火葬業務と場内管理を民間委託とする。

新炉建設は総事業費19億4700万円で最終年度となる。消防関係では、救助訓練施設整備に550万円、文化公園は、施設改修計画検討に向け、建物劣化診断に930万円を計上した。当初予算総額は、前年度対比7億7329万円増の48億8

084万円となった。
要支援者の予防事業が新しい総合事業に移行
介護保険特別会計は、介護保険制度改正に伴うシステム改修に820万円、新しい総合事業の開始で地域支援事業の町村負担金が前年度対比2500万円増

の6700万円に、総額43億2455万円です。新年度がスタートする。
(報告者 木戸勘一)

松塩筑木曾 老人福祉施設 組合報告

財源不足分を財政調整基金取崩しで補填

◎2月15日開催

2月定例会は、条例改正1件、平成29年度予算の2議案が上程されて審議の結果、可決した。

条例改正は、老人デイサービスセンター条例の条文改正で、介護保険法の改正により介護予防サービスのうち

介護予防通所介護を新しい総合事業に移行することに伴うもの。

平成29年度予算は、特別養護老人ホームを主体とする運営について、急速な療養管理

ニーズの高まりに対し、介護職員の欠員が常態化するなど、深刻な問題も表面化しつつあり、経営環境の厳しい状況を背景に編成された。予算額は、44億5600万円（前年度対比2億8200万円減）で、限られた条件の中

で、最大限のサービスに努め、財源の不足分については、財政調整基金を取り崩し補填する。

(報告者 細田光一)



木曽あすなる荘

議会報編集 特別委員会報告

議会広報の向上に向け

―議会広報研修会

◎1月31日

安曇野市

研修概要

「議会だよりの基本と編集」をテーマに、講義を受け、編集方針を明確にすることや企画、割付、レイアウトまでの注意点や写真の使い方、効果的な見出しのつけ方等を研修した。

議会広報のクリニック

には「大桑村議会だより146号（平成28年10月発行）」を提出し、講評を受けた。

住民の投稿写真を表紙にしていることや、裏表紙のサークル紹介等で住民を登場させていることについては、開かれた議会広報となつていとの評価を受けた。

改善点として、見出しのつけ方に工夫が必要であると指導された。

所感

議会広報の目的は、住民が議会への関心を高め、住民に地域課題を認知してもらうことであるとあらためて確認した。議会基本条例でも議会広報の充実を定めており、今後も、住民に読まれ、審議内容や議会活動が正しく伝わる議会報を目指し努力したい。

(報告者 木戸勘一)

一般質問

議員8人が 村政を問う

3月定例会の一般質問は15日に8名16件を行いました。
次ページより、質問議員が要約したものを掲載します。

一般質問とは

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。
年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は40分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は答弁を含め1人40分以内です。

・一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。

庁舎建設の動き

実施設計でも住民意見の反映を

庁舎建設特別委員会

◎1月10日開催

8月19日の委員会以降、基本設計案を広報やホームページ等に掲載、各施設等に掲示して住民、各団体、役場職員から聴取し検討委員会を経て変更した後の設計案について説明を受けた。

①上段駐車場東側を盛土により138台の駐車区画を確保
②建物一階の一部を二

層にして書庫面積を確保
③図書館や調理室の活用と利便性に配慮し、間取りを変更
④来客者の動線を考え村長室の位置変更
⑤二階は、一階事務室部分を広げたことにより面積が減

委員の主な意見

①開かれた庁舎にするための事務室受付の配置
②多目的ホールの文化施設機能を高めるための天井高やステージの構造について実施設計でも検討していく必要がある等
▼基本設計が完成した後、実施設計に向けても住民の声や専門家の意見を聞いて悔いを残

さないよう議論を交わして研究していくことが必要である。
(報告者 下起幸二)



新庁舎基本設計完成予想模型 役場玄関に展示



水野 進 議員

総合計画と新年度事業 年度実績を重ねて目標達成

総合計画と新年度重視事項

Q 計画事業の進捗は、計画通りである。

Q 新年度重視した事業は。

A 大きな事業は、大桑橋、ごみ処理施設新設事業である。

振興・活性化事業

Q 村の振興、活性化



シルバー人材センターによる作業

に不可欠な事業は。

A 2大事業の他、多くを計上した。今後、若者の定住・子育て支援事業を重視し進める。

Q 北名古屋市との交流事業に拡大・進展は。

A 文化交流計画に基づき、継続実施する。

Q プレミアム商品券販売での公平性確保は。

A 28年度は、販売開始30分で完売となった。

27年度に国支援で発行額が26年度の2・4倍となり、村内に徹底できた。28年度も購入希望者が増えたことが原因である。商工会事業であるが検討したい。

意見 「買えなかった」と耳にする。広く行き渡ることが必要である。

Q シルバー人材活用事業の拡大は。

A 危険がなければ可能で、会員の減少、高齢化を踏まえ継続する。
意見 活性化に高齢者パワーの活用は重要である。

組織改革と他機関との連携強化

Q 県は、地方の振興促進のため、地方事務所を「地域振興局」に変えるが、村も正面から対応する必要がある。塩尻市は、「地方創生推進課」、松川村は、「1万人復活特命

係」、池田町は、「消防防災係」を設置する。現行では対処困難との判断と思う。

Q 関係機関との連携強化の状況は。

A 関係自治体や村内の製造・建設企業、森林管理署、郵便局、JA、IHI、関西電力と連携、協議の場を設けている。

意見 村の発展のため、連携・協働を強化し施策を進めて頂きたい。



村内製造業のものの造りの心を学ぶ（明日を語る集い）



下起 幸一 議員

阿寺溪谷夏場の通行料徴収を 課題も多く結論に至っていない

Q 29年度予算に阿寺溪谷の入り込み客関連予算が計上されている。支出ばかりで収入に繋がっていない。地域住民の雇用の場にもつながっていない。夏場だけでも通行料を徴収してはどうか。次の関連事項の説明を。



混雑した昨夏の阿寺溪谷駐車場

A 29年度予算に阿寺溪谷の入り込み客関連予算が計上されている。支出ばかりで収入に繋がっていない。地域住民の雇用の場にもつながっていない。夏場だけでも通行料を徴収してはどうか。次の関連事項の説明を。

- 一、 入り込み客関連予算内容
- 一、 規制の内訳
- 一、 視察地の概要
- 一、 森林管理署との契約内容等

A 規制期間は7月22日より8月27日まで。駐車場の警備員の配置に179万8千円。赤彦広場、溪谷入口

に仮設トイレ各3基ずつ計6基の設置に約20万円。

期間中の大型バスの乗り入れを規制。

視察地の概要は、須坂市米子大瀑布と東御市湯の丸高峰レクリエーションの森。それぞれ紅葉最盛期など規制を実施し駐車場協力金等徴収している。

阿寺溪谷の森林管理署との契約は、溪谷キャンプ場の敷地のみで、今後は赤彦広場を駐車場として契約していく。

料金の徴収については協議会でも取り上げたが結論に至っていない。課題も多くあり、関係機関と調整し管理運営協議会と協議検討していきたい。

Q 美しい溪谷を守り後世に伝えていくための展望、また村の観光に対する思いは。

A 29年度の規制の反

響を見定めて村としての基本姿勢を示し後世に伝え守っていく。

木曽地域が日本遺産に認定された。大桑村には貴重な文化財等々多くの観光資源があり産業に結びつけていければと考えている。



期間限定で駐車場協力金徴収 須坂市米子大瀑布を視察



木戸 勘一 議員

移住定住促進の考えは 居住体験を進める

地域おこし協力隊 郡内の状況（H28.4.1 現在）



Q 人口減少の大桑村に対し、国からの移住定住促進事業がある。取り組みに対し、過去2年間で体験事業の結果と今後の進め方は。

A 利用者は5組であり、4組は大桑村を含め移住を希望している。情報収集は村のホームページ利用である。職場への通勤時間は15分から1時間以内を理想としている。居住事業実施は5年の期間で行

い、和村の住宅を進める。

Q 移住体験事業の、村の募集枠は1年で何組であるか。又、期間は。

A 実施期間は年6回行い、募集枠に対し複数ならば抽選で行う。

特定空き家の撤去を

Q 移住定住促進で村のイメージダウンを回避するためには、特定

空き家の撤去が大切であるが、今後の見通しは。

A 空き家対策総合支援事業は、平成32年までの期限付き事業である。

須原地区の工場、野尻地区の空き家は共に、相続人が判明した。条例に従って空き家対策を進める。

地域おこし協力隊の採用を

Q 地域の活性化が期待できる地域おこし協力隊の採用が足踏み状態ではないのか。

A 県は全国で2番目に多い採用で、郡内では大桑村以外全町村で採用している。村の現状、課題解決のために何をしようかを明確にし、検討した上で進める。

阿寺溪谷とのぞきど森林公園

Q 夏場期間限定で日本遺産認定の阿寺溪谷維持管理料の徴収を進めなければ守れない。

A 本年度の阿寺溪谷の規制に対し大型バス乗り入れ禁止を進め、入場車に対する料金の徴収は1、2年後で行う予定である。

Q のぞきど森林公園



のぞきど森林公園 つくしんぼハウス

の運営管理について利用者減少で古いケビン修理は大変である。村民の利用拡大のため、果樹園構想の考えは。

A 果樹園として栗園、ブルーベリーを行ってきたが、野生鳥獣の影響で衰退した。村民の利用については、新年度、つつじ祭りに送迎バスを運行するなど来園を働き掛ける。



鈴木 武 議員

人口問題は住民参加型で 新提案と受け止める

空き家を村営住宅として活用

Q 人口減少対策として、宅地造成の規制緩和・特区への要望活動、29年度2百万円を予算計上し宅地造成候補地基本調査の計画がある。村が望む規制緩和策と宅地造成地の区画件数は。

A 農業振興地域内の宅地転用許可への規制緩和を求めたい。目標



宅地造成候補地調査予定地
(旧大曲ゲートボール場)

区画件数は、過去の実績から4力以上を考えている。

Q これまでの宅地造成地は、郊外型要素が強い。将来的には、インフラ整備費用等を抑制するためにも、コンパウンドな街並みづくりを目指すべきではないか。街並み維持の方法として、利用可能な空き家を村営住宅として活用する。そこに一定期間居住後、買収

り希望者には譲渡を可能とする空き家活用方法を求めたい。

A 個人財産のため活用には困難を伴うが、ニーズがあれば考えたい。

Q 人口問題は、子育て世帯だけではなく、独身者も対象とした支援が求められる。若者等住民からのアイデアを積極的に取り入れる、住民参加型を提案する。

A 一機関だけの取組

みには限界があり、多くの方の知恵が必要である。村が一つになる為の、新たな提案として受け止めたい。

来訪者からも溪谷整備負担を

Q 阿寺溪谷管理費として、29年度324万円予算計上された。日本遺産登録を契機に、村が維持費全額を負担する体質に終止符を打ち、来訪者からも負担

A を求める考えはないか。様子を見ながら、検討したい。



阿寺溪谷 牛ヶ淵



細田 光一 議員

財政の健全化を 格別な問題はない



新年度予算村長所信表明

Q 平成26年度総務省より公表された決算カードによる、木曽郡6町村の財政指数の比較から大桑村の姿が見えてくる。経常収支比率は郡下6町村中上松町と同じ最下位で、県下58町村中、第49位で下から9番目。実質公債費比率は郡下6町村中最下位で、その比率は王滝村より2倍程度高

くなっている。財政調整基金は約9億円で南木曽町に次いで2番目に少なく、王滝村の約14億円より5億円少ない状況。
現在の大桑村の財政状況をどのように把握されているか。又、どのように改善していくのか、具体的な方策は。
A 郡下各町村の指数を比較して、各町

村まちづくり、むらづくり手法がそれぞれ異なる。一概に郡下と比較してどうのこうのとは言えない。行政運営の中で健全な財政運営が一番の基本である。事業を進めるに当たっては、議会の議決を得ると共に監査委員制度のチェック機能で行政運営を行っている。間違った行政運営はして来ていない。
Q 大桑村の財政は、経常収支比率や公債費負担比率が高い等、弾力性に乏しくかなり膠着化しており、家計の状態で表現すればエンゲル係数が高い状態と思われる。この現状をどの様に認識し、今後どの様に改善されるのか。
A 指数によればその様であるが、特に大桑村が事業をやっていないわけではない。又、村民生活にとって不自由

によるような事はないと感じており、生活基盤の整備等やるべき事は全て行った結果今の状況になって来ている。実質公債費比率が高いと言われるが、特に公債費比率については18%、25%、30%と言うチェックポイントがあり、今の大桑村の財政はそれを十分クリアしている。経常収支比率の件については、高

齢社会にあり木曽郡の町村が特に膠着化しているのは当然のことと考える。この様な状況の中で、なおかつ自由に使える資金を念出しながら単独で事業を行っている事実を理解願いたい。

平成27年度村の財政状況

	大桑村	郡平均	早期健全化基準	財政再建基準
地方債残高	43億5703万円	48億 858万円		
財政調整基金	9億3946万円	17億6524万円		
経常収支比率	79.1	79.1		
実質公債費比率	9.8	6.6	25.0	35.0



瓜尾美佐子 議員

医療体制の縮小や

医師不足の影響

介護施設の運営も困難に

安心の医療体制を

Q 坂下病院は、当面入院機能の縮小と外来機能は残すが、30年度には見直しするとしている。今後の対応は。

A 当面、外来機能が残るのでひと安心したが、今後の方針は未定であり、必要があれば対応していく。

Q 頼みの綱の木曽病院も医師不足、看護師不足が深刻だが、現状



木曽病院

は。

A 昨年4月、自治医大へ4人異動したが、町村会、守る会の強い働きかけで4人の常勤医師を確保できた。今後も関係機関へ働きかけていく。

Q 国は病院から施設へ、施設から在宅への流れを推し進めようとしているが、身近にいざというとき入院できる医療体制がなければ介護も成り立たない。

安倍政権の社会保障の自然増削減路線を転換させるために声をあげるべきでは。

A 医師、看護師不足は介護施設運営に影響してきている。必要な事は国に意見をあげていく。

木曽の2校存続は

Q 木曽の新しい担い手となる若者が郡外へ流れていくことに不安が広がっている。第2次高校再編計画で木曽の2校はどうなるか。

A 第2期の検討委員会の中で山間地域の現状は伝えている。2校存続は教育関係7団体で強く要望してきており、方向性は示された。高校教育の質、学力をどうつけるかと合わせ検討されるべきと考えている。

子ども医療費窓口無料

Q 国が未就学児までの窓口無料化に対するペナルティーをなくしたことで、ようやく県も動き出したが、思い

切った対象年齢の拡大と500円の負担金をなくすよう求める。

A 県がやらないようなら村単独でできないか、実施の平成30年に向けて前向きに考える。



今日からよろしく

いじめに対する学校の対応は 関係機関が協力し対応



沼 友行 議員



消防団退団任命式

Q 毎年いじめが原因で多くの子どもが自分から命を絶つてしまうことがなくならない。前途有望な子どもたちがいじめにより将来をあきらめて命を絶つてしまうことは、非常に悲しいことである。全

国では20数万件、長野県では、いじめが上半期だけでも2604件と報告されている。多分それ以上あるだろう。こんなに多くの子どもたちが、つらくて悲しい毎日を過ごしている事を思うと、私達も悲

しくて残念に思う。郡下でもいじめられた子どもが他校へ転校したというのを聞いたことがある。なぜいじめられた子どもが転校しなければならぬのか。いじめは犯罪である。いじめた人が罰せられて転校するならわかるが、私にはわからない。大桑村でいじめが原因で不登校になる子はいるか。

A いじめが原因で不登校になっている子はいない。

Q いじめの対策はどのように考えているか。

A 教育方針のもと、早いうちに対応できるように、学校、教育委員会が協力してのぞんでいる。

意見 子ども達が学校へ行くのが楽しくてしょうがないというふうにしてほしい。

結婚支援を積極的

Q 人口減少の対策として結婚支援を一番にやらなくてはいけない

と思う。村が積極的に手を打っているとは思えない、前回の質問において、何らかの支援策を検討するとして、検討経過は。

A 郡内には若者たちがイベントを企画して行っているグループがある。要請があれば支援していく。

渓流釣りコン

in 高橋渓流 (南木曽町)

2015年にいろいろシーンに出演しました

とき	5月28日(日)	料金	3500円(税込) お土産付き(甘露煮)
受付	9:30~	募集	男女各15名程
スタート	10:00~ (14時半終了予定)	対象	25歳から45歳までの 独身男女
場所	南木曽町田立 高橋渓流	締切	5月14日(日)

ご参加に興味のある方のみお申し込みください。お申込み方法・イベントの詳細をメールにてお送りします。裏面のお申込みの表をご覧になりホームページにアクセスしてください。「恋する南木曽」よりメールが届かない方はメールが届くように設定の程よろしくお願いたします。

申し込み・詳細はこちらから⇒<http://koisurunagiso.com>

主催：南木曽町婚活イベント実行委員会「恋する南木曽」

南木曽町婚活イベントのチラシ



古畑 昌夫 議員

村財政の現状と見通しは 一般財源は確保されている

Q 村の財政の現状と見通しについて、税収の見通しはどうか。

A 村民税の個人は課税人口の減少、法人は企業の景気等により、固定資産税も全体として減少傾向にある。

Q 税収が減少しても地方交付税等で補い、一般財源は全体として増えている。地方交付税の役割と財源は。

A 地方交付税は、地方公共団体間の財政の不均衡を是正し、それぞれの財政規模にに応じて交付される。財源は



大桑橋橋脚工事

所得税・法人税の33・1%、酒税の50%、消費税の22・3%、地方法人税の全額が充てられている。

Q 政府の統計を見ても、全体として消費税の比重が高くなり、大企業の法人税所得税の税収が減っているがどのように見えているか。

A 全国町村会でも、安定した財源の確保を国に求めている。

Q 大桑橋の建設、庁舎の建設を含め、財政の見通しはどうか。

A 庁舎建設基金は今

年度末で8億1千万円余になり、新年度予算で1億円の増額を見込んでいる。一般会計の起債残高は減少傾向にある。

Q 10年前には起債残高が90億円を超え、現在は69億円に減っている。しかもそのうち16億円は臨時財政対策債である。これをどのようにみるか。

A 臨財債は、地方交付税を補うもので、返済は全額交付税で充当される。有効に活用していきたい。

Q 農林業振興と森林環境税

Q 農家の高齢化、和牛の飼育頭数が激減しているがどうか。

A JAの飼育センターがあり、受委託のあっせんなど改正された農業委員会と連携して対応したい。

Q 家族農業を支える

村独自の対策が必要ではないか。

A 国は大規模化を中心にしており、中山間地の有効活用など独自の対策を検討する必要がある。

Q 栄村は小規模バイオマス発電を導入し、木曾町はチップの大型機械を導入している。木曾の広域的な対応と村独自の検討が求められるのではないか。

A 新しい情報も紹介し、六次産業化を目指したい。



森林組合による森林整備

Q 全国で37県が独自の森林環境税を導入し、国としての導入も検討されているが、村としての対応は。

A 全国の561自治体に参加して国の制度化を求めてきた。その背景には森林の荒廃があり、地方の雇用の場としての林業の振興が求められている。県では使い勝手の良い工夫が求められている。

意見 村有林も含め、有効に活用できるように求めてほしい。

平成28年度議員研修

日間賀島との交流20年 南知多町空き家対策と日間賀島の観光

環境先進都市豊田市のとよたエコフルタウンも視察



▲南知多町空き家対策を研修

2月7日から2日間の日程で、南知多町日間賀島、名古屋城、豊田市とよたエコフルタウンの視察研修を行った。

1日目の日間賀島では、南知多町の議員、日間賀島観光協会の方から、島の観光と空き家対策について研修を受けた。

日間賀島観光協会との交流20年を振り返り、これからの交流について意見交換し有意義な研修となった。

危険空き家等解体撤去 事業補助金を制定

南知多町の空き家戸数は1830戸で、全戸数に対する割合は21・7パーセント。

特定空き家は、52件で、このうち14件が助言により危険が除去された。

平成27年度に危険空き家等解体撤去事業補

助金（1件20万円）を制定し、2年間で7件の利用があり、空き家対策を進めている。

空き家バンク相談員が 定住を支援

空き家バンクへの登録件数は、8年間で431人、このうち69件の契約が成立し88人が町外から移住。ホームページの開設、広報誌への掲載を積極的に行っている。又、空き家バンク相談員を設置して、移住者が地域に溶け込み生活できる体制づくりを目指している。

こうした中でも、家屋の老朽化や商業環境等、移住後の課題も多々あるとのことであった。大桑村でも平成29年度から空き家対策事業補助金が創設。空き家対策の一助となるよう期待する。

日間賀島

新しい観光事業

離島であることが利点となり島を離れる若者は意外と少ないとの事で、人口減少はあるものの若者の定住率は高く、観光事業でも若者が頑張っている。「多幸の島」「福の島」「島のり」は知られているが、「イルカ事業」で自閉症治療やイルカセラピーの研究。「キッズアドベンチャー事業」、「サイクルパラダイス」など、

若者のアイデアで新しい観光事業が生まれている。

名古屋城本丸御殿 匠の技を後世に継承

本丸御殿復元工事は、地元、栗山木工さんの柿板を作った柿葺き屋根を見学。復元の意義を、①匠の技を後世に継承、②木文化の発信、③木曽川上下交流の促進と説明。壮大な事業に感嘆するばかりであった。

低炭素社会の実現

とよたエコフルタウンは、低炭素な暮らしが出来る街というキャッチフレーズの施設で、水素ガスで走る車「ミライ」、燃料電池で走るバス、超小型電気自動車をシェアリングするスマートモビリティパークを見学。水素ステーションでは、一つ一つの部品が高額で、低炭素社会の実現には多くの費用がかかることも分かった。

（報告者 大前今朝男）



▲本丸御殿復元工事（柿葺き屋根）
▼スマートモビリティパーク



行政報告

森林整備補助金が遅延 森林整備推進に影響

農業共済組合の合併

県内4つの組合が合併し、4月から「NOSA長野」となる。

農業委員会制度の改正

平成28年4月「農業委員会に関する法律」の一部が改正。これまで公職選挙法に基づき委員が選出されていたものから市町村長が議会の同意を得て任命する選出方法や農業委員数などが変更。大桑村の委員の定員は、現行と同様の10人とした。

木曽森林管理所南木曽支署林政懇談会

阿寺溪谷のあり方や登山道、野生鳥獣被害対策についての意見が出された。又、「国有林に隣接する公共施設の確認に関する協定」を締結した。

森林整備の新たな課題

森林整備事業に関わる補助金の不正受給事件で、平成27年10月に策定した「林務部コンプライアンス推進行動計画」により不適切申請をさせない対策等を講じ、その結果、補助金交付までに多くの日数を要する状況が起っている。木曽南部森林組合の経営状態は昨年に比べ事業収入が減額。補助金給付の遅延は、森林整備の推進に影響が出ると思われ、補助金給付の可能な事業推進や検査体制の見直し等を要望する。

木曽川右岸道路整備状況

現在、登玉から和村間、村道長野殿線代行、阿寺から戸場間、町道川向柳野線代行、中津川田立線の5箇所が事業実施区間として整備されている。平成29年度事業の和村トンネルは平成30年12月しゅん工予定。

空き家の状況

野尻地区の未相続空き家は、相続人から「空き家等の適正な管理に関する条例」第13条に基づく寄付の申し出があった。須原地区の空き家は、同条例第11条の規定に基づく公表手続きを準備中。

郵便局と協力協定締結

村、村内3郵便局と配達を統括する木曽福島郵便局で「村内における協力に関する協定」を締結した。郵便配達などに村内で高齢者等の異変を見つけた場合、村への情報提供に協力するとしたもの。

議会活動日誌

12月	活動内容
15日	12月定例会 議会報編集特別委員会
16日	12月定例会 全員協議会
19日	社会福祉協議会理事会・評議員会
20日	阿寺溪谷管理運営協議会
26日	木曽郡議長会
1月	活動内容
4日	新年祝賀会
8日	消防団出初式
10日	庁舎建設特別委員会
13日	議会報編集特別委員会
19日	議会報編集特別委員会
20日	商工会行政懇談会
23日	林政懇談会
30日	木曽広域連合議会 経済観光常任委員会研修 (春日井市)
31日	県町村議会広報研修会 (安曇野市)
2月	活動内容
1日	森林環境税創設促進議員連盟正副会長会議 (～2日・東京)
6日	地方税滞納整理機構2月定例会(長野市)
7日	議員視察研修 (～8日・南知多町・豊田市)
15日	松塩筑木曽老人福祉施設組合議会2月定例会
16日	砂防及び地すべり防止講習会(～17日・東京)
18日	砂防懇談会
20日	木曽広域連合議会 議会運営委員会・総務常任委員会・福祉環境常任委員会
22日	総務社会常任委員会・経済建設常任委員会
23日	県議定会定期総会
24日	議会運営委員会
26日	大桑村の明日を語る集い
28日	木曽広域連合議会2月定例会
3月	活動内容
3日	3月定例会

サークル紹介 第13回

ほんわか集団

ままっこクラブ

「ままっこクラブ」は、保育園入園前の子をもつ母親中心の集まりです。不定期でその都度参加できる親子が集まり、体を動かしたり、パンやうどんを作ったり、ほか様々な活動をしています。

昨年夏頃数名で始まったこのクラブも、今では20名以上のメンバーがいます。以上のことから“立派な”クラブをイメージされる方がいらっしゃるかもしれませんが、クラブとは名ばかりで、その実は「こんなことやってみる?」「これならできそうかなあ?」と、誰からの提案でもなくなんとなく始まり、楽しく活動している“ほんわか集団”です。でも、それこそが「母親だって楽しんでもいい」という自分たちのクラブへの思いと

も言えます。

クラブで大切にしている二つの考え。それは「母親が楽しむことで子どもの笑顔を引き出すこと」そして「様々な世代の人とふれあうことを通して、愛する我が子とこの大桑村をつなぐ世代間の架け橋になりたいという願い」です。

私たちは多くの村民の方々との“お茶のみ話”をしながらの交流を、とても楽しみにしています。どうかお気軽にご連絡いただませんか。今後ともよろしくお願いいたします。

(お問い合わせ)

子育て支援センター TEL 55-1215)

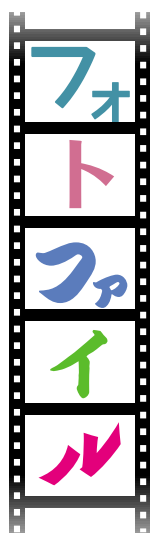


▼公園の桜
橋場の遊園地に満開の紅しだれ桜が目を引きまします。これは、村の推進した施策による花と緑の会によって、平成6年に橋場住民により植えられたものです。

表紙撮影

横平幸男さん(橋場)

年々大きくなり、今では幹も太くなり濃いピンク色の花は圧倒的存在感があり、とてもきれいです。



村への思い①

大桑村だけがもつ
魅力の再認識を

及川律子さん



この大桑村という地で4年間過ごさせていただき、土地柄同様の人柄の温かさから、大桑村のことが心底好きになりました。4年前、長男は1歳。心身共に健やかに成長して欲しいという願いをもち大桑村に参りましたが、今振り返り「この村に来られ、この方々に出会えて本当によかった」と思っています。「他人事」を「自分事」として捉える方々との時間は、子どもだけでなく親までも育てていただきました。

この村を離れる今、願うこと。それは「大桑村だけがもつ魅力の再認識と周知」です。離れていてもこの村を愛しています。家族一同、学び、育てていただいたこの大桑村民であったことを誇りに思います。

幸せな時間を、本当にありがとうございました。

議会報編集特別委員
委員長 木戸 勘一
副委員長 瓜尾美佐子
委員 沼 友行
委員 水野 進

大前今朝男

